



## 安田式体育遊び集中講座

参 加 者 の 声

ご参加いただいた先生から、受講された感想や、その後の園での実践などについてお聞きしました。



— 集中講座を受けた率直な印象は？

今まで安田式の研修会に参加したことはありましたが、正直なところ情報が多くて、どう整理したらいいのか、どこから手をつけたらいいのか、頭の中が混乱していた感じがありました。集中講座では、その膨大なノウハウを順を追って分かりやすく説明してくれるので、終わってみると頭の中がきれいにまとまって、やるべきこともはっきりしました。もっともっと指導力を身につけたい。そう思える10限研修で、2日間があつという間に感じられました。

— 子供達はどう変わりましたか？

安田式を取り入れてからの話になりますが、運動の得意・不得意に関係なく運動能力が底から上がったと実感しています。何よりも、外で遊ぶ勢いが変わった。外で遊ぶにも、これまで「何して遊ぼうかな～」「みんながいるから行ってみよう」だったのが、今は子供達が「今日はこれで遊ぶ！」と目的をもって外に飛び出している。それも年少から年長まで。遊びに対して本当に意欲的な子達になりました。

技術向上よりも共感力を高める体育遊びという意味が理解でき、子供達が“待つ”のもワクワクして楽しんでいる姿を見て、自園では動くよりも“並ぶ・待つ”時間が長かつたなあと改めて感じたので、園に帰り実践していかたいと思った。

安田式を導入して10年以上が経ちましたが、ようやくこの指導法の真髄が理解できた気がしました。園に戻ってからもレジメを隅から隅まで再読っています。園でやるべきことが明確になった二日間でした。後は実践あるのみです！

— 先生自身の変化はどうですか？

今まで子供達にちゃんとさせるとか、格好良くとか綺麗にというの大前提の指導をしていました。10のことを喋ってから始めていたのに対して、安田式は1つのことを伝えて「はいやろう！」とするだけで子供達が本当にいきいきしています。僕自身、本当に楽です（笑）先生が楽。それでいて子供達は楽しい。手を抜くというわけではなく、大人も子供も楽しい。「楽」という言葉が当てはまるのが安田式体育遊びだと思います。

とても楽しく勉強させていただきました。運動・体育が大嫌いだった私でも楽しそう、やってみたいと思いました。子供達にそう思ってもらえるよう頑張ります。

指導力チェック項目という、自分の指導を客観的にみられる指標をもらいました。園長先生、各学年の代表皆で参加し、共有できることで、先生同士が「燃える集団」になりました！

子供を熱中させられる先生になるう



講座の様子は  
△コチラ△



体育遊びをとことん学べる！2日間で10講座

## がんばりまめの社

- ▶遠足
- ▶職員研修
- ▶遊具見学



### Access

当 日  
のみ JR「石山」駅北口から無料送迎バスあります！  
詳細はお申込み確認書をご覧ください。

#### 各駅まで電車をご利用の場合



在来線



新幹線

- JR琵琶湖線「石山」駅
- 京阪石山坂本線「唐橋前」駅



乗り換え

（約13分乗車）

JR琵琶湖線 新快速  
「京都」駅 下車

「石山」駅

#### 各駅から会場まで徒歩（タクシー）の場合

タクシーご利用の方は  
JR「石山」駅下車

- JR琵琶湖線「石山」駅より徒歩約30分（タクシー 約10分）
- 京阪石山坂本線「唐橋前」駅より徒歩約20分

#### お車をご利用の場合



P 駐車場 20台  
(申込先着)

お一人でも多くの方にご利用いただけるよう、お乗り合わせのご協力をお願い申し上げます。

京都 大阪 方面より

名神高速 濑田西ICより約5分  
名神高速 濑田東ICより約5分



インター  
降りてすぐ！

奈良方面より

京滋バイパス 石山ICより約10分

# 安田式 体育遊び 集中講座

令和2年春

3/21(土)~22(日)・24(火)~25(水)・28(土)~29(日)

第1回

第2回

第3回

12:45~翌日15:50

1日目 12:45~18:40  
2日目 9:30~15:50

1日目終了後  
交流会あり

※どの日程も時間と研修内容は同じです

# 安田式体育遊び集中講座

令和2年春

60分×10講座



講師 居関 達彦 安田式体育遊び研究所 所長

安田祐治氏より研究所を引き継ぎ、幼少期の年齢発達に応じた体育遊びを体系づけた「安田メソッド」の研究と普及に努める。

子供達の体力低下、安全能力低下の現状を捉え、その解決策として具体的な体育遊びの実践公開と研修会を全国各地で行う。



## 1限目 乳幼児の発育を学ぶ

### 年齢と発達の理解

年齢やクラス単位で活動を限定するのではなく、発達過程と子供の経験値を理解することにより、発育のねらいを持って、基礎的な遊びから子供の成長を促す効果的な体育遊びを計画することが出来ます。

- ▶ 心と体の発達段階
- ▶ 情緒の絆を深め、共感力を高めるために
- ▶ 眼球運動と視機能の向上、安全能力の向上

## 2限目 遊びの種類と特性について

### 原野遊びと樹上遊び

体育遊びは原野遊び、樹上遊び、館遊びと大きく3つに分けることが出来ます。特に粗大運動を必要とする原野遊びと樹上遊びを学び、子供達を運動大好きっ子にする環境構成を考えましょう。

- ▶ 安全能力を向上させる原野遊び
- ▶ 脳神経を育て、共感性を高める樹上遊び
- ▶ 心と体の力をとる遊び

## 3限目 遊びを樹形図で理解する

### 遊び樹形図の理解

何かが上手く出来ないということはその前段階の遊びの経験が足りないだけなのです。様々なジャンルの遊びがどのように関係し、繋がっていくのか、樹形図をもとに楽しく理解しましょう。

- ▶ 遊びは繋がるから楽しい
- ▶ 遊びは発展し、選択肢があるから楽しい
- ▶ 遊びは高度に発展し、判断を要するから楽しい
- ▶ 遊びは仲間と共に感・協力するから楽しい

## 4限目 0・1・2歳児の体育遊びの実践

### 段階的指導“ホップ・ステップ・ジャンプ”

これまでの理論を実践に繋げます。赤ちゃんマッサージや、平行遊びから共感遊びに展開する方法を学びます。子供と先生の絆を深め、共に楽しみ熱中できる指導を目指しましょう。

- ▶ 情緒の絆を深める応答的な関わり
- ▶ 自己身体認識力を高め、保護伸展反応を促す遊び
- ▶ 共感力・模倣力・観察力を高める遊び
- ▶ 心と体の力をとる遊び、感覚統合を促す遊び

## 5限目 3・4・5歳児の体育遊びの実践

### 段階的指導“ホップ・ステップ・ジャンプ”

全員すぐに出来る遊びから高度な遊びへと発展させ、技能向上にも繋がるホップ・ステップ・ジャンプを学びます。子供達を互いに刺激しあう「燃える集団」へと導きましょう。

- ▶ 心と体の力をとる、安全能力を向上させる遊び
- ▶ 左右対称の動作と感覚統合を促す遊び
- ▶ 共感力を向上させる遊びと構成

## 6限目 運動会を「楽」にする

### 運動会種目の構成と演出

日常の遊びを運動会種目へと展開させて、子供・保護者・先生が共感し一体となる運動会の演出を学びます。

- ▶ 共感・協力・競争の親子競技
- ▶ 会場が一体となる種目・演出
- ▶ 日常のかけっこが大声援のリレーに発展

## 時間割

### 1日目

- 12:45 開会  
13:00 1限目  
14:10 2限目  
15:20 3限目  
16:30 4限目  
17:40 5限目  
18:40 1日目終了

<研修会終了後>  
質問・交流会  
(自由参加)  
最終バス発車予定時刻19:50

### 2日目

- 9:30 6限目  
10:40 7限目  
11:40 昼食  
12:30 8限目  
13:40 9限目  
14:50 10限目  
15:50 閉会

## 7限目 保護者の深い共感を得るために

### 楽しい親子講座と共感を深める発信方法

子供の育ちを実感し、絆を深める親子行事の紹介や、共に育むための運動遊びの効果・効能、共感を深める発信方法をお伝えします。

- ▶ 親子の絆を深める親子体操
- ▶ 運動大好きっ子に育む家族の関わり
- ▶ お家で出来る! 安全能力向上遊び

## 8限目 技能向上遊びを楽しむために

### 様々な技の補助法と実践

技能向上遊びの段階的指導において大切な、子供の意欲を高め、「出来そう!」を引き出す補助などの関わり方の実践を体感し、様々な技のポイントを学びましょう。

- ▶ 技ごとの特徴と補助法
- ▶ 達成の要素を知り、出来ない要因を見極める
- ▶ 不得手な子、怖がりな子への関わり・補助法・対処法

※補助体験などで軽く体を動かしますが、服装は問いません

## 9限目 子供を熱中させられる魅力的な指導者になるために

### 体育遊び指導力

子供を熱中させられる魅力的な指導者を目指して、具体的なポイントを指導力向上の指針となる「体育あそび指導力チェック項目」で確認しながら学びます。

- ▶ 魅力的な指導者になるための12のポイント
- ▶ 号令のリズム・声のトーン
- ▶ 目当ての与え方
- ▶ 喜び方・褒め方・叱り方

## 10限目 自園の目指す子供像に向けて

### 年間遊び計画と指導計画

入園から卒園まで体育遊びを計画的に実践するための、自園に合った年間計画の作成方法と指導計画について学びます。

- ▶ 遊びを段階的に発展させよう
- ▶ 出来ることを楽しく遊戯化しよう
- ▶ 繰り返し熱中できる日常の遊びを構成しよう

